

乳癌 HER2 ならびに Ki-67 免疫染色の精度調査に対するご協力依頼

熊本県臨床細胞学会

関係者各位

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 30 年度病理細胞部門の活動の一端として、平成 30 年 10 月 25 日（木）に「乳癌 HER2 ならびに Ki-67 免疫染色の精度管理」というタイトルで、乳癌薬物療法の選択における免疫染色の重要性に関して、県内における複数の施設の皆様と情報を共有しようと考えております。

現在、本邦では Oncotype Dx などの乳癌薬物療法の薬物選択法として欧米では位置づけられている癌組織を用いた遺伝子検査の保険収載が未承認であり、大部分の乳癌患者は免疫染色による乳癌バイオマーカー（ER, PgR, HER2, Ki-67 など）の検索により、予後の予測や治療法の選択がなされています。このような観点から、免疫染色の精度を高い位置に保つことが、乳癌患者に対して重要であることは言うまでもありません。

このような現状の中、熊本県内の病理診断部門で行なわれている免疫染色の精度レベルを私どもが確認することは、県内における乳癌患者の治療成績の向上に寄与するものと考え、以下の検討を提案いたします。

【目的】熊本県内の病理診断部門における乳癌バイオマーカーの検索のための免疫染色の精度向上を目的とする

【方法】

- ① くまもと森都総合病院で切除が行なわれた乳癌のパラフィン包埋組織より作製した未染色標本を各施設に送付する
- ② 当該施設で指定の免疫染色（HER2 と Ki-67）を施行する
- ③ 染色標本を回収する
- ④ HER2 の染色強度や KI-67 標識率の施設間較差の有無やその程度を比較検討する
- ⑤ その結果を 10 月 25 日の研修会で公表し、情報を共有することにより、精度の向上を目指す

上記の企画にご賛同・ご協力いただける施設がございましたら、7 月 13 日（金）までに下記のメールアドレスまたは電話連絡いただけますと大変ありがたく存じます。

どうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成 30 年 6 月 21 日

\*\*\*\*\*

有馬 信之

くまもと森都総合病院 病理診断科

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL: 096-364-6000 FAX: 096-362-5204

E-mail: arima@shinto-general.jp

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

〒862-8655

熊本県熊本市中央区大江 3-2-65

医療法人創起会 くまもと森都総合病院

医療技術部 病理診断科 遠山 亮佐

TEL : 096-364-6000 (内線 2031)

e-mail : [tohyama@shinto-general.jp](mailto:tohyama@shinto-general.jp)

\*\*\*\*\*